

指定管理者のモニタリングシート

1、基本情報

確認年月日: 令和7年1月31日

施設名	原敬記念館		
住所	盛岡市本宮4丁目38-25		
指定管理者名	(公財)盛岡市文化振興事業団	所管課名	歴史文化課
指定管理料(年額)	87,341,000円(盛岡市先人記念館と一体管理)		
今回確認期間	令和 5 年 12 月 1 日 から令和 6 年 11 月 30 日 まで (12 ヶ月間)		

2、業務の履行状況の確認について

(1)稼動実績

項目		今期計画	今期実績
開館日数		309 日	309 日
延べ利用者数	個人	6,000人	5,687人
	団体	30人	139 人
主要事業開催回数	展示活動事業	8 件	8 件
	教育普及事業	20 件	21 件
	教育普及事業【出前事業】	15 件	15 件
	教育普及事業【出前講座】	5 件	5 件
	共催事業(原敬を想う会、本宮児童センター)	4 件	4 件

(2)管理運営実績

項目		確認欄
設置目的	施設の設置目的及び市の施策の成果向上に果たす施設の役割を理解し、これらに沿った管理運営がなされているか。	適 ・ 要改善
平等利用	市民・利用者の平等な利用が確保されているか(一部の市民・利用者に対して、不当に利用を制限したり優遇したりすることが行われていないか。)	適 ・ 要改善
施設の効用の発揮	施設管理	
	建物・外構の保守・点検は仕様書等に基づき行われているか。	適 ・ 要改善
	設備の保守・点検は仕様書等に基づき行われているか。	適 ・ 要改善
	建物、外構、設備の修繕の履歴は整理、保管されているか。	適 ・ 要改善
	現金・備品等の管理	
	現金は適正に管理されているか。	適 ・ 要改善
	鍵は適正に管理されているか。	適 ・ 要改善
	施設に配置されている備品が適正に記録・管理されているか。	適 ・ 要改善
	備品の購入、廃棄、修繕の記録について整理、保管されているか。	適 ・ 要改善
	事業実施	
	仕様書及び事業計画書で実施することとしている事業が実施されているか。	適 ・ 要改善
	危機管理	
	危機対応の手順は整備されているか。	適 ・ 要改善
管理確保能力	適正な人数の職員が配置されているか。	適 ・ 要改善
	職員の資質向上のための研修等の取組みが実施されているか。	適 ・ 要改善
	適正な労働条件が確保されているか。	適 ・ 要改善

(2)管理運営実績(続き)

項目		確認欄
個人情報保護情報	施設で取り扱う個人情報は、特記仕様書に基づき扱われているか。	適 ・ 要改善
その他	市と指定管理者の間で指定管理業務について記録することとしている事項について、記録が整備されているか。	適 ・ 要改善
	あらかじめ市に協議すべき事項について、適時に協議がされているか。	適 ・ 要改善
	市と指定管理者の間で指定管理業務について報告することとされている事項について、適時に報告がなされているか。	適 ・ 要改善

3、サービスの質の確認について

(1)サービス提供の状況

項目		確認欄
職員対応	職員の身だしなみは適切か。	適 ・ 要改善
	利用者への対応のマナーは適切か。	適 ・ 要改善
	利用者に対する職員の案内、説明は分かりやすく丁寧に行われているか。	適 ・ 要改善
施設管理	施設は清潔に保たれているか。	適 ・ 要改善
	施設内の案内が利用者にわかりやすく表示されているか。	適 ・ 要改善
	施設は利用者が利用目的に沿って安全に使用できる状態になっているか。	適 ・ 要改善
要望苦情	利用者からの苦情・要望に対し、適切な対応がなされているか。	適 ・ 要改善
	利用者からの苦情・要望について、市への連絡報告が適切に行われているか。	適 ・ 要改善
利用促進	事業実施の周知が適切になされているか。	適 ・ 要改善
	事業内容は利用者のニーズに合っているか。	適 ・ 要改善
	ホームページは「公の施設の指定管理者のインターネット利用指針」に沿って作成されているか。	適 ・ 要改善

4、指定管理者が施設の管理運営及びサービスの質を向上させるために工夫した事項

【施設管理】危険樹木1本の伐採を実施。他にも高木・老木等の樹木が多数あるため、今後も計画的に伐採・剪定していただけるよう所管課との連携を密にしていきたい。また施設修繕については、雨漏りや冷温水発生機の故障等、随所で経年劣化が著しいが、優先順位をつけ、都度対応している状況である。なお3月に点灯不良となった展示室蛍光灯の一部をLEDに改修したが、指定管理料ですべての改修を実施するのは不可能なため、所管課と情報共有しながら対処していきたい。 【事業関係】昨年度、学芸員講座で実施し、好評だった「街歩き」を館長を講師とした館外講座として開催。今年度も好評を博した。また、企画展では今年、盛岡市で「全国藩校サミット」が開催されることにちなみ、原敬が盛岡藩校・作人館で学んだことや同窓たちとの関係を紹介した「原敬と盛岡藩校・作人館」を開催した。なお、藩校サミット開催前後には、企画展で紹介したパネルを再度館内に掲示し、来館者サービスに努めた。現在開催中の「新収蔵資料展」では、令和元年から令和5年度に新しく収蔵・整理した資料の中から、主な資料を展示紹介してるが、原敬の書を学ぶため、市内の高等学校が団体で入館する等興味関心を惹く企画となった。また2月には、4年ぶりにミニイベントを再開。クイズを解きながら原敬について、詳しく学んでいただく機会を提供することが出来、また子ども向け用に景品の種類を増やして好評を得た。

5、モニタリング結果を踏まえた今後の管理運営の方向性

指定管理者	所管課
施設、生家の経年劣化、樹木の管理、蛍光灯からLEDへの切替については、所管課と連絡を密にし、優先順位をつけ随時対処していくこととする。なお次年度は、原家子孫からお預かりした「原恭家文書」の寄贈に向けた整理に従事するため、業務量が増えるが、企画展開催期間の短縮等にて対応する。 また、新型コロナウイルス感染症が5類に以降したことにより、多くの来館者が見込まれるミニイベントや記念茶会を通常開催することが出来、好評を博した。今後も感染対策に留意し、引き続き来館者サービスに努めていきたい。	施設の修繕対応については、細やかに情報共有され、適切に対応いただいた。今後も継続して連絡を密に対応いただきたい。企画展やイベントなど満足度の高い企画を行うことで来館者の増加に努め、適正な施設の管理運営が行われていることが確認できた。 今後も、より一層の市民サービスの向上と効率的な管理運営に努めていただきたい。

